

認知症治療の新たな可能性

医療法人千清会 鈴木脳神経外科

当院は、埼玉県川越市笠幡にて脳神経外科を中心とした医療を提供してまいりました。

これまでMRIを台体制で検査を行ってまいりましたが、2025年1月には3テスラMRIを新たに導入しました。

現在はAIによる診断補助も活用し、より精度の高い画像診断に努めています。マルチスライスCTスキャンをはじめとした



MRI検査



CT検査



脳誘発電位検査



脳波検査

画像診断機器を整え、一人ひとりのニーズに応じた検査をご提案しています。

頭痛・めまい・もの忘れ・てんかんなど、脳に関わるさまざまな症状に対し診療を行っています。特に認知症診療については、認知機能検査、血液検査、MRIに加え、他院と連携したPET検査を活用し、より正確で科学的根拠に基づいた診断体制

に努めています。

また、生活機能の維持を支える通所リハビリテーション「RISING」や在宅診療として訪問看護ステーションを併設し、予防から診断、治療、生活支援までを見据えた体制を整えています。

病気を治すことだけでなく、「健康な長寿社会を支える」ことが私たちの使命です。

認知症とは何か―「年のせい」で済ませないために

もしも親や身近な方、あるいはご自身が認知症になったら。人生100年時代において、認知機能の問題は誰にとっても身近なテーマです。

活に支障が生じる状態を指します。正常と認知症の間の段階は「軽度認知障害(MCI)」と呼びます。

加齢に伴い脳の働きは少しずつ変化しますがその程度や進み方には個人差があります。また検査画像上の変化と実際の生活での困りごとが必ずしも一致するとは限りません。認知機能の変化は、ご本人の因子と生活環境とのバランスによって大きく左右されます。今できていることに目を向け、できる治療と支える環境作りの視点が大切です。

認知症とは、脳の病気などによって認知機能が低下し、日常生活

に対応すれば、状態が改善する可能性もあります。

一方で、認知症が進行してからは治療が難しくなる場合を多く経験します。私は常に、「早期診断・早期治療が未来を左右する」とお伝えしています。



待合室・受付

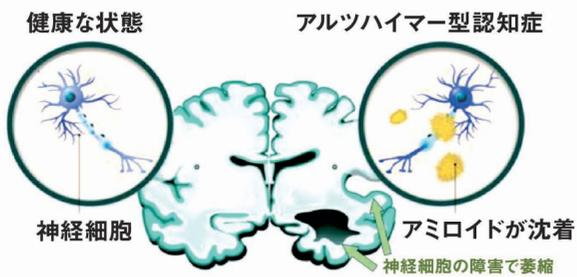
もの忘れの背景には、脳の病気だけでなく、持病の悪化や薬の影響、脱水、体調不良、気分の落ち込みなどが関係していることもあります。そのため、原因を丁寧に見極めることが大切です。

軽度認知障害の段階で適切に



診察室

医療で脳を守る―川越から発信する Neuroscience



私はこれまで、脳の血管と向き合う脳血管外科医として、脳の血管にアミロイドというたんぱく質が沈着して起こる脳出血を診てまいりました。手術によって命を救うことができた方も少なくありませんでした。その厳しさを、臨床の現場で痛感してきました。

このアミロイドは、脳血管障害だけでなく、アルツハイマー型認知症にも深く関わっています。脳内にアミロイドが蓄積すると、神経細胞やシナプスに障害を及ぼすと考えられています。近年は脳内のアミロイド蓄積を可視化できるようになりました。画像で

アミロイドと脳疾患―臨床経験から見えてきたもの

鈴木脳神経外科 院長 鈴木海馬



確認し、科学的に評価し、治療につなげる。認知症診療は今、変わり始めています。

新しい治療の選択肢―抗アミロイドβ抗体薬という可能性

2023年末から2024年にかけて、アルツハイマー病に関連するアミロイドβを標的とした抗体薬が国内で使用可能となりました。2023年12月、2024年12月にそれぞれ新しい薬が販売開始されています。

これらは、症状を緩和する治療とは異なり、疾患の原因物質とされるアミロイドβに作用する薬剤です。ただし、すべての方が対象となるわけではなく、適応や使用条件、治療可能施設は厳格に定められています。投与は脳出血や脳浮腫などの副作用に注意しながら定期的な点滴で行います。当院では治療導入・継続施設として診断と説明を行った上で治療を実施しています。

もちろん、薬物治療を選択されない場合でも、その方に適した治療や支援をご提案いたします。重要なのは、「治療方法がある」という事実を知り、適切な時期を逃さないことです。

不安を抱え込まず、まずは相談を

認知機能の低下は、恥ずかしいことでも、特別なことでもありません。しかし、「怖い」「認めたくない」「ごへ相談すればよいかかわらない」といった理由で受診が遅れてしまう方が多いのも事実です。元気の段階で小さな変化に気づき、早めに受診された方の中には、軽度認知障害から安定した状態を維持されている方もいらっしゃいます。一方で、進行してから初めて来院される方も少なくありません。

私はこれまで多くの脳疾患と向き合ってきました。その経験から強く感じるのは、「早く知ること」が何よりの力になるということです。認知症は、かつては「治らない病気」と言われてきました。しかし今は、早期診断と適切な治療によって、未来を変えられる可能性がある時代です。

気になる症状があれば、どうか放置せず、早めにご相談ください。ご本人だけでなく、ご家族の不安にも寄り添いながら、私たちは科学的根拠に基づいた医療で支えてまいります。

健康な長寿社会とともに歩むパートナーとして。鈴木脳神経外科は、皆さまの脳の健康と向き合っていきます。

「人生を変えるような感動」を使命に。



医療法人千清会 鈴木脳神経外科

脳神経外科 神経内科 内科 循環器内科

〒350-1175 埼玉県川越市笠幡2082 TEL.049-233-7701



【広告作成についてのご案内】

○限られた日程の中で原稿作成を進めておりますので、校正は原則的に3回までとさせていただきます。○締切は原則掲載日の4営業日前の18:00とさせていただきます。○締切日時までに掲載内容が確定しない場合、契約された日の紙面に掲載できなくなる恐れがございますので、指定期日までに必ず校了をいただけるようお願い申し上げます。○新聞社へ入稿後は、内容の変更や訂正ができませんので、入念なチェックをお願い致します。

弊社使用欄	営業担当者	制作担当者
初稿・2・3・校了	横谷	津田